

補助金・交付金 チェックシート (No.1)

補助金名 (交付金名)	ロシア極東連邦総合大学函館校支援補助金	開始 年度	平成10年度
団体名	学校法人 函館国際学園	団体等 の状況	<input type="checkbox"/> 課税事業者 <input checked="" type="checkbox"/> 免税事業者
助成の根拠規定等 (条例・規則・要綱等)	函館市補助金等交付規則, ロシア極東連邦総合大学函館校支援補助金交付要綱		

○補助事業の内容および目的・効果

内 容	日本で唯一のロシアの大学の日本校であり、ロシア語やロシア文化、歴史などロシアに関する専門家を養成するロシア極東連邦総合大学函館校に対して、運営費を補助するもの。
目 的	(目的) ロシアに関する専門家の育成および市民の国際理解の醸成など本市の国際化の推進等において、ロシア極東連邦総合大学函館校が果たしている役割は重要であることに加え、閉校までの間、学校が学生の修学機会を確保することができるようにするため。
・ 効果	(効果) 学校経営の健全化が図られ、ロシアに関する専門家となる人材育成およびロシア語、ロシア文化の講師派遣や地域のイベント参加により、ロシアとの交流をはじめ、市民の国際理解の醸成など本市の国際化の推進が図られる。

○補助事業の収支状況 ※上段:補助事業等に要する経費 [下段]:補助対象経費 (単位:千円)

	年 度	助 成 金		事業収入	寄付金	雑収入	繰入金等	計	
		市	その他						
収 入	R3 (決算)	29,595 [29,595]	4,366 [4,366]	20,555 [20,555]	3,825 [1,845]	409 [409]	2,419 [2,419]	61,169 [59,189]	
	R4 (決算)	29,091 [29,091]	4,312 [4,312]	19,078 [19,078]	1,805 [1,805]	394 [394]	4,359 [3,501]	59,039 [58,181]	
	R5 (決算)	28,343 [28,343]	3,565 [3,565]	16,303 [16,303]	1,923 [1,923]	340 [340]	7,573 [6,213]	58,047 [56,687]	
	R6 (決算)	25,818 [25,818]	2,425 [2,425]	11,227 [11,227]	5,325 [1,170]	388 [388]	20,521 [10,608]	65,704 [51,636]	
	R7 (予算)	39,664 [39,664]	1,560 [1,560]	5,828 [5,828]	1,000 [236]	236 [236]	4,229 [47,288]	52,517 [47,288]	
	支 出	年 度	人件費	経常経費	設備費	施設費	引当金	積立金等	計
		R3 (決算)	44,671 [44,671]	14,893 [12,913]	418 [418]		1,187 [1,187]		61,169 [59,189]
R4 (決算)		44,717 [44,717]	13,611 [12,753]	244 [244]		467 [467]		59,039 [58,181]	
R5 (決算)		44,253 [44,253]	12,950 [11,590]	213 [213]	164 [164]	467 [467]		58,047 [56,687]	
R6 (決算)		41,529 [40,036]	13,783 [10,413]			1,187 [1,187]	9,205	65,704 [51,636]	
R7 (予算)		35,266 [35,266]	16,021 [11,442]	360 [360]	100 [100]	120 [120]	650	52,517 [47,288]	

補助金・交付金 チェックシート (No.2)

補助金名 (交付金名)	ロシア極東連邦総合大学函館校支援補助金
----------------	---------------------

○基本的視点の再チェック

基本的視点		適	不適	説明
1	公益性 (明確な公益性があるか) ①広く市民生活の向上に貢献する事業 ②市民ニーズが高い事業	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ロシアとの交流の長い歴史を有する本市において、函館校はロシアに関する専門家の育成だけでなく、ロシア語の市民講座などを通じて、市民の国際理解の醸成など本市の国際化の推進などに大きく寄与している。
2	必要性(補助しなければならない事業であるか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	令和7年度以降の入学者の募集停止が決定され、授業料等収入が激減することから、より一層の支援が必要である。
3	自主性(自主自立に向け努力しているか)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	寄付金の募集、学校教育以外の事業収入の確保や経費節減に努めるなど、自主自立の努力が認められる。
4	有効性(他の手法ではなく補助することが、施策目的実現に最適か)	<input checked="" type="checkbox"/>	<input type="checkbox"/>	ロシアに精通した人材を育成する学校法人の運営に支出するものであることから、委託や負担金はなじまない。

○財政的視点のチェック

財政的視点		不適	不適の場合の理由と今後の対応について
1	積算内訳は、前年踏襲となっていないか	<input type="checkbox"/>	
2	補助金等の使途は適切である	<input type="checkbox"/>	
3	積算基準は定められている	<input checked="" type="checkbox"/>	実績等を参考に積算しているため、基準は定めていないが、過大な予算とならないように精査している。
4	補助割合は、補助対象経費の1/2以内である	<input checked="" type="checkbox"/>	令和7年度以降募集停止に伴い授業料収入が大きく減少するものの、学校を運営する経費は一定程度必要となることから、補助対象事業の収支差を交付することとしたい。
5	前年度繰越金は生じていないか	<input type="checkbox"/>	
6	自主財源の確保に努めているか (最低でも前年度の収入を確保しているか)	<input type="checkbox"/>	
7	経常経費の節減に努めているか	<input type="checkbox"/>	

補助金・交付金 チェックシート (No.3)

補助金名 (交付金名)	ロシア極東連邦総合大学函館校支援補助金
----------------	---------------------

○補助効果の検証

(効果測定方法, 具体的な数値等)

○学生数 R7: 5名 R8: 4名

○卒業生の進路

○地域貢献活動

(達成状況)

○卒業生 R2: 7名 R3: 7名 R4: 8名 R5: 7名 R6: 7名

○日口の貿易や交流に携わるロシアに精通した人材を少数ではあるが輩出している。

○主催事業: ロシア語市民講座, 文化講座
 受託・協力事業: 高等教育機関等へのロシア語研修, 講師派遣, 姉妹都市交流事業に係る翻訳・通訳, CCH (キャンパス・コンソーシアム函館) 参加ほか



(評価)	(理由)
十分効果をあげている <input type="checkbox"/> 一定の効果をあげている <input checked="" type="checkbox"/> 効果が疑問である <input type="checkbox"/> その他 <input type="checkbox"/>	市民向けのロシア語講座や文化講座を開催しているほか、カルチャーナイトへの参加をするなど、市民の国際理解の醸成、本市の国際化の推進に貢献する事業を行っている。

○今後の方向性

<input type="checkbox"/> 現行のまま補助を継続	(見直しの内容) コロナ禍に加えロシアによるウクライナ侵攻の影響を受け、入学人数の増加は見込めず、令和7年度以降の入学者の募集停止が決定されたが、学校が担ってきた役割、学生の修学機会に対する配慮などから、閉校までの間、支援を継続することとし、令和8年度末を目途に、在校生の人数など学校の運営状況を勘案し、廃止について検討する。
<input type="checkbox"/> 見直したうえで補助を継続	
<input type="checkbox"/> 廃止	
<input checked="" type="checkbox"/> その他	
(見直しの時期) 令和8年度	
(廃止の理由)	(その他の内容)
(廃止の時期)	

○終期の設定

終期設定	<input type="checkbox"/> 終期到来により廃止	次回チェック年度(予定)
令和8年度	<input checked="" type="checkbox"/> 終期到来時に再検討	令和8年度